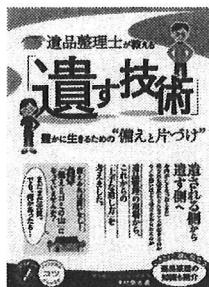


平成28年3月1日(火)



身内が亡くなった時、残された家族は託された遺品について、どのように対処していくべきいいか。そのノウハウを現場のプロが伝授する著書『遺品整理士が教える「遺す技術」』(一般社団法人遺品整理士認定

協会木村榮治理事長著)がメイツ出版から刊行された。遺す側と遺される側の備え・心構えが分りやすく紹介されている。同書には様々な家族の経験談・失敗談に加え、遺品整理の心構えや「上手な遺し方」のコ

者の対応に心を痛めた経験を持つ。それが協会の設立につながり、約一万人の遺品整理士の輩出に至った。木村理事長は著書の中で「決してがんばり過ぎについても触れ、エンディングノートの活用や生前整理の大切さなどを呼びかける。著者自身も実際に親の遺品として実際に遺品整理業者を上手に活用すること」とアドバイスしている。A5判百四十四頁、価格は千五百円(税抜)。

遺品整理のプロが「遺す技術」を伝授

—木村榮治理事長が新著でコツを紹介